



# 散文について

読むことと書くこと

本を読み、書くことのなかで、記憶とともに紡ぎ出される言葉の数々―。散文の名手が語る書物への愛と読書への誘い。

## 堀江 敏幸



講演者:堀江 敏幸(ほりえ・としゆき)

作家・早稲田大学文学学術院教授

1964年岐阜県生まれ。早稲田大学第一文学部卒業、東京大学大学院博士課程中退。1999年『おぼらぼん』(青土社、新潮文庫)で三島由紀夫賞、2001年『熊の敷石』(講談社)で芥川賞、03年『スタンス・ドット』で川端康成文学賞、04年に同作収録の『雪沼とその周辺』(新潮社)で谷崎潤一郎賞、木山捷平文学賞、06年『河岸忘日抄』(新潮社)で読売文学賞を受賞。

主な著書に『郊外へ』(白水社)、『書かれる手』(平凡社)、『いつか王子駅で』(新潮社)、『魔法の石板—ジョルジュ・ペロスの方へ』(青土社)、『未見坂』(新潮社)など、著書・訳書多数。

近著には『彼女のいる背表紙』(マガジンハウス)、『正弦曲線』(中央公論新社)がある。

・新潮社

日時:平成21年12月7日(月)

18時30分~20時00分

会場:東京外国語大学

研究講義棟1階115教室(定員200名)

事前申込:不要

入場料:無料



同時開催 平成21年度図書館展示会

「MASSON: 19世紀パルチータン・アフガニスタン紀行」

日時:11月18日~12月18日

場所:東京外国語大学附属図書館2階エントランスホール展示コーナー

[お問い合わせ先]

附属図書館総務係

Tel:042-330-5193 e-mail:toshou-soumu@tufs.ac.jp